



遠賀中間医師会

2025年9月30日発行

第25号

在宅総合支援センターだより

在宅医療・介護連携推進事業



住民公開講座のご案内



住民公開講座を開催いたします。

在宅医療についての講演と映画上映を行う公開講座です。

誰にでも訪れる最期の時 その時のために

あなたが望む医療やケアについて考えてみませんか？

<どなたでも無料で参加できます>

テーマ 最期まで自分らしく生きるために
～人生の最終段階の医療とケアについて～

日時 令和7年11月29日(土) 10:00～13:00

会場 なかまハーモニーホール 大ホール
〒809-0014 福岡県中間市蓮花寺3丁目7-1

参加料 無料 **内容** 講演、映画「エンディングノート」上映

講師 遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院 統括院長
末廣 剛敏 氏

◎映画概要「エンディングノート」

撮影・編集・監督:砂田麻美 製作・プロデューサー:是枝裕和

67歳の時40年以上勤めた会社を退職。第二の人生を歩み始めた矢先に、毎年欠かさず受けていた健康診断で胃ガンが発見。すでにステージ4まで進んでいた。残される家族のため、そして人生総括のために最後のプロジェクトとして課したのは「自らの死の段取り」だった。果たして彼は人生最後の一大プロジェクトを無事に成し遂げることができたのか?そして残された家族は一。

◎申し込み方法

電話・ファックス・Eメールにて事前の申し込みが可能です。詳細は在宅総合支援センターまでお問い合わせください。

※事前申し込みをされていなくても当日参加もできます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



©2011「エンディングノート」製作委員会

令和7年7月25日(金) 職種別研修会を実施しました

遠賀町介護サービス事業者連絡会研修会「転倒予防について」

講師 おんが病院訪問看護リハビリステーション 理学療法士 林 剛己 氏
おかがき病院通所リハビリテーション 作業療法士 浅田 大輔 氏

日時 令和7年7月25日(金) 18:30～20:00 **会場** 遠賀町役場

内容 遠賀町の介護サービス事業所から35名の方が参加されました。経験した転倒例の分類や対応策についてグループワーク形式で話し合いました。講義では転倒リスクの要因について整理され、多角的アプローチのためのシームレスな医療介護連携による情報共有が重要であるとの説明が印象的でした。研修後のアンケートからは、「グループワークを通じ様々な症例、解決案を知る事ができ大変勉強になりました」「皆様が日頃悩んでいる事を共有でき、すごく良い機会となりました」「多職種の視点を聞くことができ勉強になりました。連携の大切さを実感できました」等のご感想をいただきました。





宗像・遠賀中間地域在宅医療支援センターについて

福岡県では、全ての保健福祉（環境）事務所に、「地域在宅医療支援センター」を設置しています。

「住み慣れた家で暮らしたい。」
「家に連れて帰りたい。」

そんな想いを支えます。

自宅で安心して過ごすためには、患者さんや家族とともに、医療、看護、介護スタッフ、地域の支援者などが協力し、チームで支えていく必要があります。宗像・遠賀中間地域在宅医療支援センターでは、在宅で自分らしく過ごしたいという願いをかなえるための体制づくりに取り組んでいます。

宗像・遠賀中間地域在宅医療支援センターの役割

◆地域の在宅医療や在宅療養に関する情報提供

管内の在宅医療に関する資源等について情報収集し、患者やその家族と医療関係等の支援者へ情報提供を行っています。



◆研修会の開催

医療・福祉関係者等の支援者向けの研修会を開催しています。今年度は、災害対策に関する研修を開催します。

◆地域在宅医療推進協議会の開催

宗像・遠賀地域の在宅医療や難病に関する地域の現状や課題について協議し、地域全体で在宅医療を支援する体制づくりに取り組んでいます。

◆患者や家族、医療関係者等の支援者から療養上の悩みや不安の相談支援

在宅医療を希望する患者やその家族、医療・福祉関係者等の支援者からの相談を受け付けています。

相談先

宗像・遠賀中間地域在宅医療支援センター

（宗像・遠賀保健福祉環境事務所 健康増進課 健康増進係）

〒811-3436 宗像市東郷1丁目2番1号

TEL：0940-36-2366 FAX：0940-36-6101



難病等の在宅人工呼吸器使用患者の

「個別避難計画」作成支援の取組みを進めています

近年、地震や大雨等の自然災害が頻繁し、これまで以上に災害への備えの重要性が高まっています。

大規模災害が発生した場合、「難病等で在宅人工呼吸器を使用している患者」は生命の危機につながる可能性があることから、平常時から災害へ備えておく必要があります。

このため、当所では、市町村が作成する個別避難計画（※）のうち、「難病等で在宅人工呼吸器を使用している患者」の計画作成を積極的に支援しています。

※個別避難計画とは？

災害時にひとりで避難するのに時間がかかる方などについて、「いつ、どこに、だれと、どうやって避難するのか」を事前に計画し、災害の発生に備えておくものです。

「難病等で在宅人工呼吸器を使用されている方」で、個別避難計画作成についての詳細を知りたい方は、当センターまでお問合せください。



● ● 町個別避難計画 (個別避難計画のイメージ)

避難行動要支援者

ふりがな ばんどう たろう 生年月日 平成●●年●●月●●日
氏名 坂東 太郎 性別 男
住所又は居所 ●●町字●●23番地 避難するときに必要な支援の内容
電話番号その他の連絡先 ●●●-●●●-1234 abodef@ghijklmail.ne.jp 聞こえを支援していただくと避難できるようになります。

※この場所（住所又は居所）では、☐土砂災害、☐洪水、☐高水、☐津波、☐その他があります。
最寄りの避難できる場所は、☐土砂災害の場合は●●番地、☐高水の場合は●●番地です。
「警戒レベル3高水等避難」(津波の場合は「避難指示」)が発令されたらすぐに安全な場所へ避難！

避難支援等実施者

氏名又は名称	住所又は居所	電話番号その他の連絡先	できること	対応できる状況
福祉 梅子	●●町字●●35番地	●●●-●●●-5678	☒ 避難行動の支援 ☒ 避難している方の確認 ☒ 避難先と一緒に行く ☒ その他	☒ 在宅人工呼吸器など ☒ 土砂災害 ☒ 洪水 ☒ 高水 ☒ その他(高水、津波など)
防災 一郎	●●町字●●56番地	●●●-●●●-6789	☒ 避難行動の支援 ☒ 避難している方の確認 ☒ 避難先と一緒に行く ☒ その他	☒ 在宅人工呼吸器など ☒ 土砂災害 ☒ 洪水 ☒ 高水 ☒ その他(高水、津波など)
自治会	●●町字●●78番地	●●●-●●●-7891	☒ 避難行動の支援 ☒ 避難している方の確認 ☒ 避難先と一緒に行く ☒ その他	☒ 在宅人工呼吸器など ☒ 土砂災害 ☒ 洪水 ☒ 高水 ☒ その他(高水、津波など)

避難先・避難経路・その他

避難先	避難経路	その他
自宅の隣（市町村指定避難所の場合） ●●公園（市立指定避難所の場合）	自宅 → 町立●●小学校 → ●●公園 ※避難時に必要な物資（水、食料、医薬品等）は事前に確認してください。	避難先には必要な物資を入れている避難用リュックを準備しているため、忘れず持ち出すことが重要です。みんなで助け合ってください。

災害時の緊急連絡先：●●町立●●小学校 ●●町立●●中学校 ●●町立●●図書館 ●●町立●●公民館 ●●町立●●体育館 ●●町立●●文化センター ●●町立●●市民会館 ●●町立●●図書館 ●●町立●●公民館 ●●町立●●体育館 ●●町立●●文化センター ●●町立●●市民会館

宗像・遠賀中間地域在宅医療支援センターでは、今後も「誰もが望む場所で療養できる地域医療体制の整備」を目指し、医療機関や市町村、地域包括支援センターなどとの連携を図り、地域全体で在宅医療を支援する体制づくりに取り組んでいきます。

令和7年9月28日出前講座を実施しました

令和7年9月28日に岡垣町の西黒山公民館で実施いたしました。在宅で受けることができる医療や介護に関して、在宅総合支援センター職員が講話を行いました。

アンケートより、

「自分らしく生きていけるので在宅医療も有りかなと思います」

「自分だけでは決められない。子供の意見を考慮すべきだがまだ決めていない」

などのご感想をいただきました。

在宅総合支援センターでは地域の公民館等で在宅医療に関する出前講座を行っています。詳細は在宅総合支援センターまでお問い合わせください。



メディカルケアステーション (MCS)

医療・介護従事者のためのコミュニケーション・情報共有ツール

MCSは医療介護専用の完全非公開型SNSで、多職種連携のためのコミュニケーション、情報共有ツールです。必要な情報を関係者間で共有することができます。

遠賀中間地域連携コミュニティ

遠賀中間地域の医療機関・介護サービス事業所等を対象として、MCSの自由グループを作成しています。コミュニティに参加してつながりに登録すると患者グループへの招待や参加がスムーズです。詳細は在宅総合支援センターまでお問い合わせください。



遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップ

遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップをホームページ“つなぐ在宅ネットおながなかま”に掲載しています。

遠賀中間地域の医療機関や介護サービス事業所を、エリアや名称等から検索して閲覧できます。在宅総合支援センターのホームページから、どなたでもアクセスできます。ぜひお気軽にご利用ください。



在宅医療に関する医療機器整備(無料貸出)

当センターでは、在宅医療に使用する医療機器、研修用シミュレータを医療機関及びサービス事業所に無料貸し出しを行っています。借用の手続きや貸出物品などの詳細は在宅総合支援センターのホームページをご覧ください。

<医療機器貸出物品>

- ポータブル吸引器 ○ ポータブル吸入・吸引両用器 ○ ネブライザー
- 点滴スタンド ○ 自然落下式輸液ポンプ ○ PCAポンプ
- カフティポンプ ○ カフ圧計 ○ 血液ガス分析器(携帯用)



ネブライザー



PCAポンプ

在宅医療に関する相談窓口について

在宅総合支援センターには在宅医療に関する相談窓口があります。遠賀中間地域1市4町の地域包括支援センター等と連携してご対応させていただきます。

専門のスタッフがおりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

在宅医療相談窓口

- 受付時間 月～金曜日
9時～16時
- 電話 093-281-3100
- FAX 093-281-3105



発行 遠賀中間医師会 在宅総合支援センター

〒811-4342 遠賀郡遠賀町大字尾崎1725番地2

TEL 093-281-3100 FAX 093-281-3105

URL : <http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/>